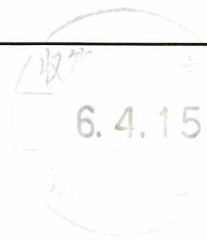


政務活動費収支報告書



令和 6 年 4 月 15 日

瑞穂町議会議長

山 崎 栄 様

議員名 原 隆 夫 

令和 5 年度政務活動費について、次のとおり収支報告します。

- | | | | | |
|---|---------|----------------|---------|----|
| 1 | 収 入 | （政務活動費交付額 金 | 120,000 | 円） |
| 2 | 支 出 | （政務活動費支出額 金 | 172,439 | 円） |
| 3 | 添 付 書 類 | 支出に係る領収書等の証拠書類 | | |

令和5年度 政務活動費 収支報告書

議員名： 原 隆夫

1 収 入

項 目	金 額	説 明
政務活動費 (①)	120,000 円	当初交付金

2 支 出

項 目	金 額 ※1	説 明
調 査 研 究 費	103,169 円	支出内訳参照
研 修 費	円	
広 報 ・ 広 聴 費	円	
資 料 作 成 費	5,000 円	
資 料 購 入 費	64,270 円	
合 計 (②)	172,439 円	

差引金額 (①-②)	△ 52,439 円 ※2
------------	---------------

※1 使途項目ごとに集計の上記載してください。

※2 差引金額に残余が生じた場合は、この金額を返還してください。
(差引金額が△(マイナス)の場合は返還の必要はありません。)

支出内訳

[illegible]

視 察 報 告 書

議員名 : 原 隆夫

1 期 間 : 令和 6年 1月 22日（月）～ 1月 24日（水）

2 参 加 者 : 小川 龍美 下野 義子 原 隆夫

3 視察先及び視察項目

	都道府県名	市町村名・施設名	視察項目
[1]	愛媛県	八幡浜市	道の駅みなとオアシス「八幡浜みなと」について
[2]	愛媛県	松山市	自主防災組織の活動と防災士養成事業について

4 視察報告

（1）選定理由

- [1] 道の駅みなとオアシス「八幡浜みなと」は多くの自治体が視察を行っている事から、交流拠点の在り方について学ぶため。
- [2] 自主防災組織の活動と防災士養成事業が多くの自治体から着目されている事から、活発に行われている活動や人材育成の取り組みが我が町の取り組みに生かせる点がないか学ぶため。

（2）視察内容

- [1] 蜜柑の収穫量日本一を誇り、港での水揚げされた海産物もあるのに、多くが全国や料理屋などに出荷されて、市民が市内で購入する場がなかったことから、市民と市でそうした場を作ろうと10年を超える時間をかけて協議を進めてきた。一度は白紙状態になったが、市民の有志の粘り強い取り組みに支えられて、道の駅構想が実現。市内の特産品の販売だけでなく多くの開発商品や市内外の特産品の販売、交流できる施設、広場を設け、施設内の車の誘導を促す配置など工夫した道の駅となり、コロナ禍でも来客数が減らない交流の場となっている。広場では、一年を通して、市のイベントのみならず市民や各種団体の企画するイベントも盛んに行われていた。
- [2] 松山市では、阪神淡路大震災、東日本大震災を教訓として、自助、共助が重要であるとして、地域防災力の核となる「組織づくり」「人づくり」に取り組んでいた。市内の全自治会に自主防災組織を設置し、41消防署管区ごとに地区を結成し、

統括機関を設立してネットワーク会議を定期的を開催して市全体で積極的に訓練、啓発活動に取り組んでいた。併せて、地域防災の核となる防災リーダー養成を目的に、防災士の養成事業にも着手。地域の自主防災組織だけではなく幼稚園・保育所、小中学校のほか、一般企業にも防災士の養成が進んでいる。令和5年3月時点で8,000人を超える防災士が誕生し、活躍している。さらに、小学生から高齢者まですべての世代に防災リーダーを育成しようとそれぞれの年代に合った形で防災について学び、災害時に生かせる全世代型防災教育にも取り組んでいた。

(3) 町にどのような提言ができるか

- [1] 住民の熱い思いと行政の取り組み、国だけでなく民間の資金も活用して施設整備を行っている。運営も民間の力を活用し、2013年の開設から入場者100万人を達成している。併設している交流館や広場も住民や各種団体が自由に工夫してイベントや交流に活用している。我が町もその施設運営や施設整備の仕方など今後のまちづくりの参考になるものがあると考ええる。類似の施設である「ふれっしゅはうす」の拡充などにも参考となることもあると考えられるので研究すべきと考える。
- [2] 小学生から高齢者まで、全世代防災教育に取り組んでいる点は防災意識の向上に大いに役立つ。また、防災リーダーの育成は、地域防災組織の要となり、自主防災の活性化につながると考えられる。その他、総合防災マップの作製・配布、防災アプリの配信、逃げ遅れゼロプロジェクトなど様々な施策を進めていて、我が町も学校や地域と連携して防災教育に取り組み、できるところから防災に対する住民の意識向上、実際の避難対応訓練等施策を進めるべきと考える。

5 旅 費 :

月 日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レンタカー (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料
1/22	箱根ヶ崎 - 羽田空港第2ビル	1,482						
	航空費・宿泊費(茶振留) レンタカー						75,100	
1/24	羽田空港第2ビル - 箱根ヶ崎	1,482						
小 計		2,964					75,100	
		合 計 78,064 円						

6 交通費 : ガソリン代 695 円

有料道路通行料 433 円

駐車場代 717 円

計 1,845 円

7 手数料 : 円

8 保険料 : 円

9 資料代 : 円

10 その他 () : 円

総 合 計 79,909 円

視 察 報 告 書

議員名 : 原 隆夫

1 期 間 : 令和 6 年 2 月 2 日 (金) ～2 月 3 日 (土)

2 参 加 者 : 小川龍美 下野 義子 原 隆夫

3 視察先及び視察項目

	都道府県名	市町村名・施設名	視察項目
[1]	長野県	伊那市立伊那小学校	公開学習指導研究会

4 視察報告

(1) 選定理由

[1] 全国から、教職員、議員等が伊那小学校の学習指導研究会に参加している。
その特色ある学習の取り組みを研修するため。

(2) 視察内容

[1] 伊那小学校は「子どもは自ら求め、自ら決め出し、自ら動き出す力をもっている存在である」という子ども観に立ち、子どもたちの求めや願いから学習を発展していくことで、子ども自身に学ぶ力が育ち、主体的な学習が創造できると考え、総合学習・総合活動の中核に据えた教育課程を編成し、子どもと共に創り出す授業の実現を目指した研究実践を積み重ねている。その各学年の授業を自由参観。その後、研究発表。次に学年ごとの共同参観授業、6 年生の学習発表を参観し、最後に「はじめに子どもありき」と題した講演会を拝聴。

(3) 町にどのような提言ができるか

[1] 子どもの本来の自主的、能動的な生き方を学習に発展させていく手法は、主体的、能動的な学習につながり、体験を通して楽しく学習する基礎となっていた。総合学習の充実で子どもたちのやる気をおこす授業編成で、主体的な姿はすばらしかった。我が町でも調べる学習、体験学習に取り組んでいるが、伊那小学校の取り組みを参考に、その中から少しでも生かせるものがあるか研究すべきと考える。

5 旅 費 :

月日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レンタカー (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料
2/2	JR箱根ヶ崎 - 伊那北	3,740	2,240					
2/3	ファインデイズホテル							7,300
	JR伊那北 - 箱根ヶ崎	3,740	2,240					
小 計		7,480	4,480					7,300
		合 計 19,260 円						

6 交通費 : ガソリン代 円

有料道路通行料 円

駐車場代 円

計 円

7 手数料 : 円

8 保険料 : 円

9 資料代 : 円

10 その他(研修参加費) : 4,000 円

総 合 計 23,260 円